

TML 基板のひずみ 測定用ソフトウェア **PCB** Testing System **PC-760**

プリント基板の品質管理や信頼性評価

特長

○ IPC/JEDEC-9704A 対応

○ テスト基板上に貼られたひずみゲージの出力をビジュアル表示

○ ロゼットゲージを用いてひずみの最大値とその方向、ひずみ速度をリアルタイムに算出

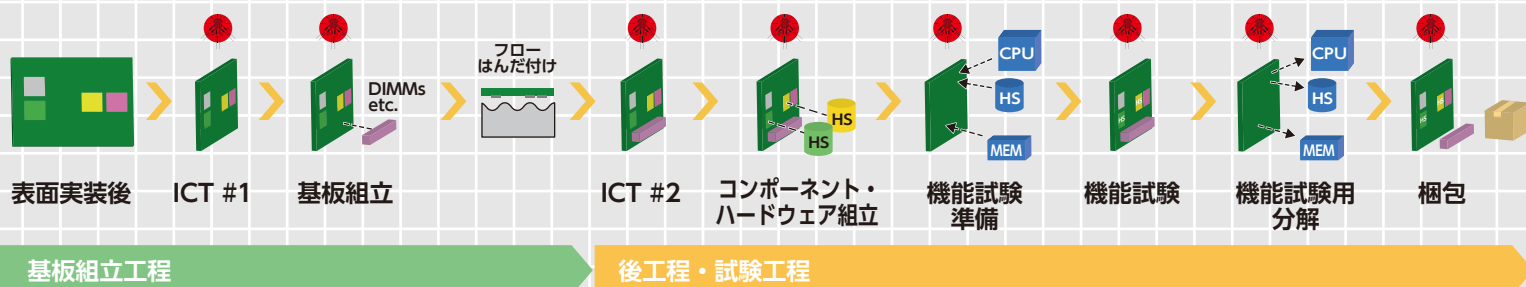
○ IPC/JEDEC-9704A に準拠したレポート出力

IPC/JEDEC-9704A とは

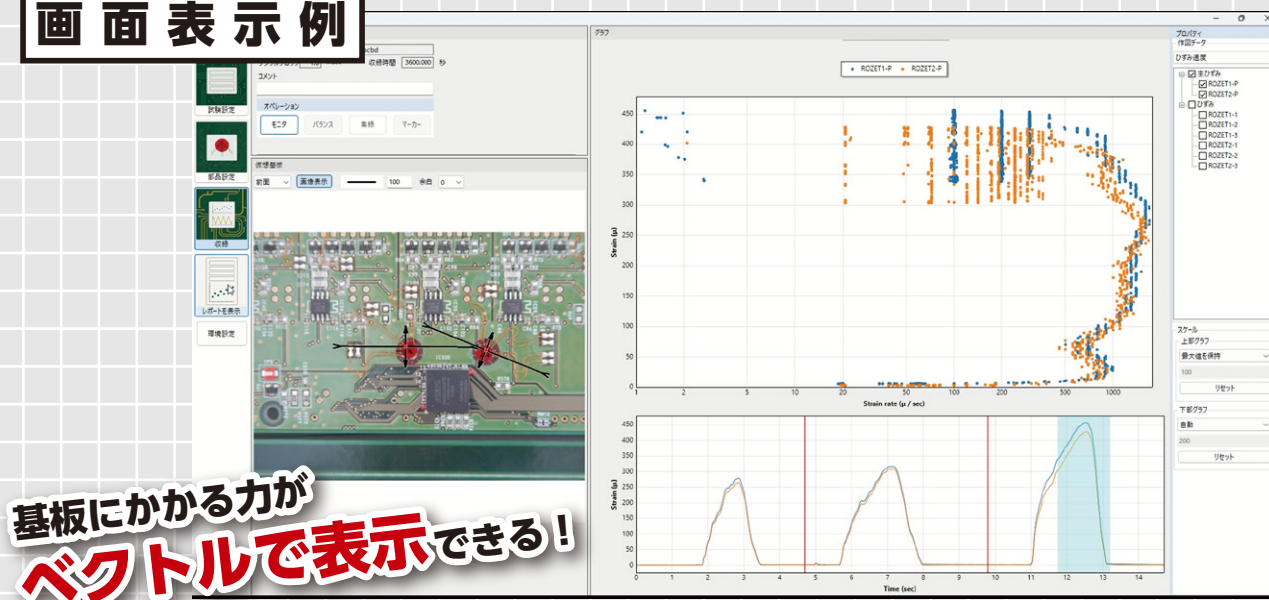
米国の IPC (電子回路協会) と JEDEC (半導体技術協会) が策定したプリント基板のひずみ測定のガイドライン

基板組立時のひずみ測定

● = ひずみ測定 ICT = インサーキットテスト



画面表示例



概要

本システムはプリント基板に係る応力を計測、解析し、IPC/JEDEC-9704Aに準拠したレポート作成を行うソフトウェアです。

データを集録する試験用ソフトウェアおよび集録データからレポートを作成するデータ表示用ソフトウェアで構成されています。

各種設定

・試験情報

(試験名称、試験番号、会社名、製品名、ラインID、検査官氏名等)

・基板情報

(基板ID、試験回数、厚さ(mm単位)、基板画像等)

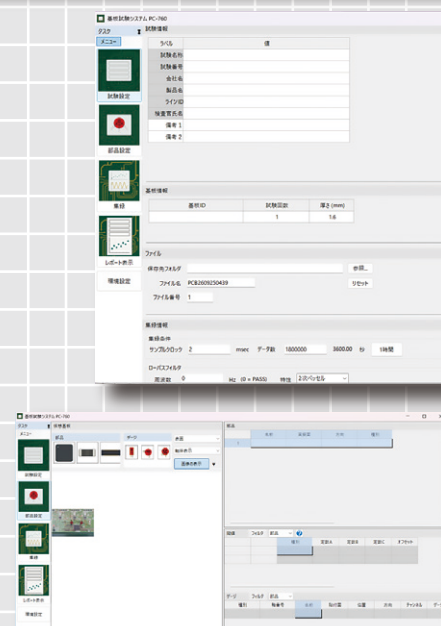
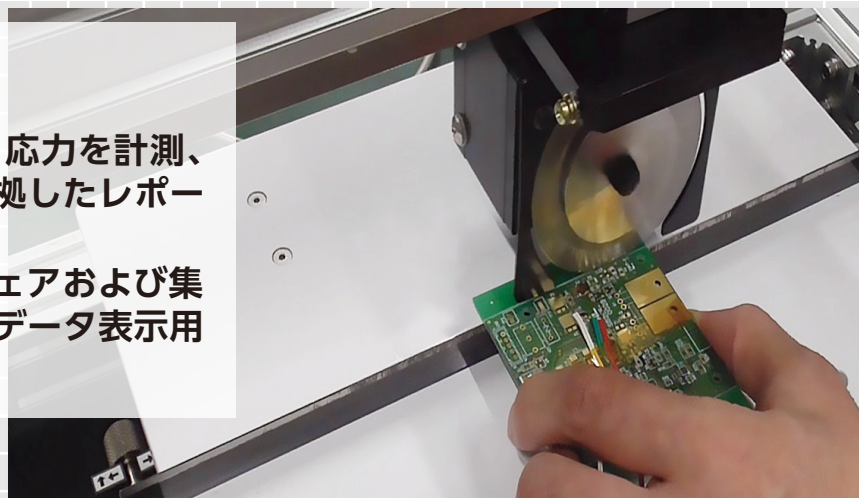
・仮想基板と部品の配置

(仮想基板上にひずみゲージと部品アイコンをドラッグ&ドロップで配置。ひずみゲージ軸数、部品分類の選択)

・しきい値設定

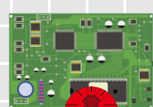
・グラフ種別

(広域グラフと詳細グラフに描画する形式を、ひずみまたはひずみ速度から選択。ロゼットゲージの場合、最大主ひずみ、最小主ひずみを角度に合わせて矢印で描画するベクトル機能搭載)



システム構成

当社マルチレコーダ TMR-300 シリーズと組合せてプリント基板に係る応力を測定。



ひずみゲージ



TMR-300 シリーズ



PC-760

システム要件

- ・対応言語 : 日本語、英語
- ・対応測定器 : TMR-311(Ver2.5A 以降) 1 台
TMR-321(Ver1.1A 以降) または
TMR-322(Ver1.1A 以降) 最大 2 台
- ・インターフェース : LAN
- ・OS : Windows10 / 11

レポート

IPC/JEDEC-9704A に準拠したレポートを作成。複数の集録データを同時に複数表示することが可能。

掲載内容は予告無く変更することがあります。掲載内容は2026年10月現在のものです。TML Pam J8008A



株式会社東京測器研究所

本 社 : 〒140-8560 東京都品川区南大井 6-8-2
TEL (03)3763-5611 FAX (03)3763-6128

東京測器研究所

検索